

協定によらない取組事例

(1) 子ども食堂寄贈品の物流支援(富士通(株)、マツダ流通(株))

かわさき市内の子ども食堂へ段ボール220箱分、約1.8トンのハンドソープ等衛生用品が寄贈されることになり、大量の品の一時保管場所及び各食堂への移送について2社が協力。
富士通(株)が一時保管場所の提供、マツダ流通(株)がトラックによる運送に協力している。



→
(左から) 協力企業の3名と子ども食堂関係者
※タウンニュース 2021 年 12 月 24 日号転載

(2) 火災予防啓発への協力((株)カジノヤ、川崎鶴見臨港バス(株))

- ・商品パッケージを用いた啓発協力
市民に対して効果的に火災予防広報を実施するため、幅広い商品流通ネットワークをもつカジノヤに協力いただき納豆の商品パッケージに「火の用心」と「住宅火災警報器の設置と点検」を促すフレーズを印刷してもらっている。
- ・バス車両での啓発協力
秋の火災予防運動ポスターを、川崎鶴見臨港バス内の広告スペースに掲出してもらっている。



商品イメージ ※実際と異なる場合があります

火災予防啓発入りの納豆



昨年のポスター

(3) 町内会加入啓発促進の協力(第一生命保険(株))

第一生命保険が、町内会加入率向上を目的とする啓発チラシを、市民に対して配布する等の協力を行っている。

町内会加入促進啓発チラシ

